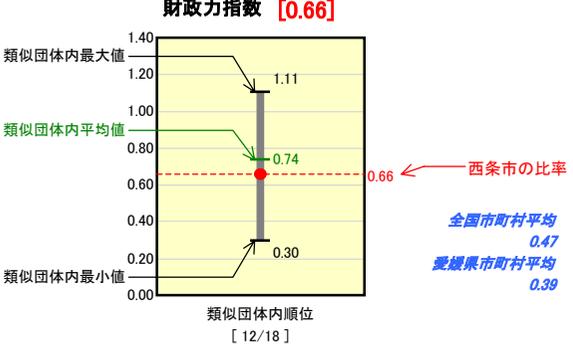


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

愛媛県 西条市

人口	116,259人(H17.3.31現在)
面積	509.04 km ²
歳入総額	48,654,815千円
歳出総額	46,404,043千円
実質収支	2,127,220千円

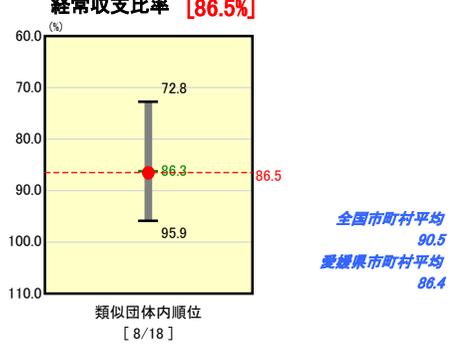
財政力



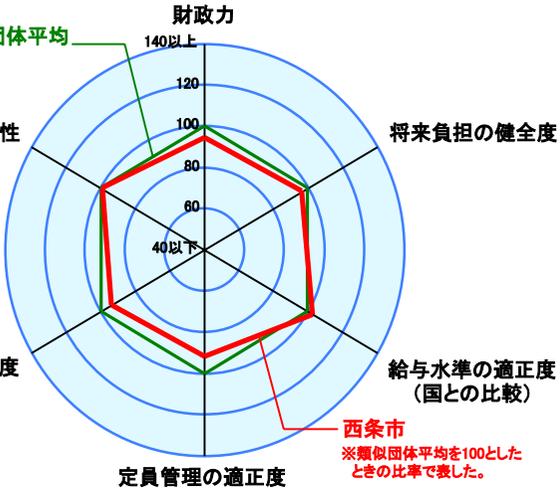
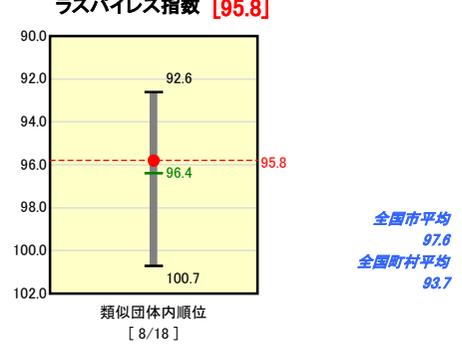
将来負担の健全度



財政構造の弾力性

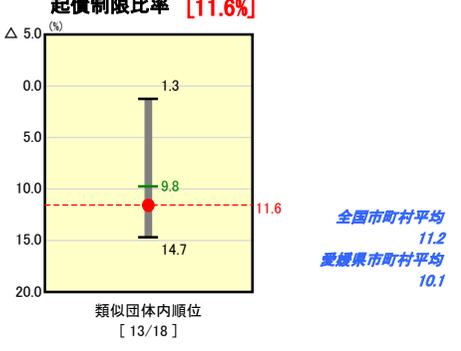


給与水準の適正度(国との比較)

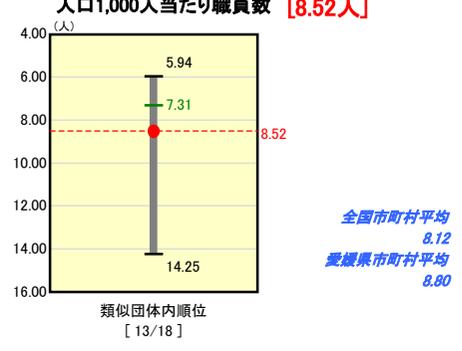


※類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

財政力指数: 類似団体平均を下回っているが、全国市町村及び県内市町村平均を上回る財政力にある。今後とも、企業立地の促進等産業振興を推進し、市税収入等の自主財源の増加に努め、財政基盤を強化する。

経常収支比率: 全国市町村平均より低く、ほぼ類似団体及び県内市町村平均値にある。今後とも、市税などの一般財源の確保や、増加する扶助費や繰出金等の圧縮を図り、財政構造の改善に努める。

起債制限比率: 類似団体、全国市町村及び県内市町村平均の何れと比較しても高い状況にある。今後とも、後年度に交付税措置等のある起債を厳選して活用するとともに、新規発行の起債の抑制に努める。

人口1人当たり地方債現在高: 全国市町村平均及び県内市町村平均より低く抑えられているものの、類似団体平均より高い状態にある。今後とも、重要かつ緊急度の高い施策の選択等、適債事業を厳選することにより、借入額の抑制を図る。

ラスパイレス指数: 類似団体平均及び全国市平均より低く抑えられている。今後とも、給与制度改革等も踏まえ、より一層の給与の適正化に努める。

人口1,000人当りの職員数: 合併により類似団体平均を上回っているが、平成17年4月に策定した定員適正化計画に基づき、合併時の職員数(1,409人)を基準とし、平成17年度～平成21年度の5年間で100人(7.1%)を目標とし、職員数の削減を図る。